

タイトル: 日本の仕事について

会社名: 長良通商(株) 氏名: ヨウ ジュウシ

出身国: 中国

私は三重県桑名市にある長良通商株式会社  
勤務するヨウ・ジュウシと申します。私は  
中華人民共和国の最西南部にある雲南省の出  
身です。雲南省は中国で第八位の面積です。  
年間を通して気温の差は小さいですが、1日  
の気温差は大きいです。私はそんな雲南省の  
小さな町で生まれ育ち、両親、妻と息子の5  
人の幸せな家庭を持っています。私は201  
9年4月に技能実習1号口として日本へ初め  
て入国しました。現在は技能実習を3年間終  
えて特定技能1号として建設機械施工の業務  
を行っています。外国人技能実習制度につい  
て私が思ったことは、この制度は外国人への  
支援と保護がされ、私たち外国人は仕事をし  
ながら日本の技術・技能を学ぶ身につけ、多  
くの知識を得ることが出来ます。帰国後には  
日本で学んだ多くの技術・技能や知識を母国  
の経済発展に役立てることができるとても良  
い制度だと思っています。

私が日本に来る前は日本の仕事は簡単だと思

TODA MIRAI FOUNDATION

タイトル: 日本の仕事について

会社名: 長良通商(株) 氏名: 王 江江

出身国: 中国

っていました。でも来てみるとちっとも簡単  
ではなく、とても難しいと感じました。私の  
仕事は建設機械施工です。毎日たくさんの機  
械が動いています。バックホウ、ブルドーザ  
、タイヤショベル、アーティキュレートダン  
プトラックなど。仕事をすると中国と日本  
では違うところがたくさんあります。例えば  
中国には資格の証明書がありません。日本で  
は資格証がないければ重機には絶対に乗れませ  
ん。中国にも日本のような資格証ができれば  
いいと思います。また、仕事のやり方も違  
います。例えばバックホウで荷物を吊り上げる  
とき、運転手は物重式クレーンの資格を持っ  
ていなければなりません。クレーンフックが  
付いたバックホウが必要です。決められた重  
量を超えてはいけません。バックホウのツメ  
で荷物は吊ってはいけません。運転手には相  
応の資質が必要です。だから日本は事故が起  
こる確率が少ない。しかし我が国中国では多  
くの者が対応の手順を覚えていません。専用

TODA MIRAI FOUNDATION

タイトル: 日本の仕事について

会社名: 長良通商(株) 氏名: 劉 浩江

出身国: 中国

のフックを使わずバックホウのリフトで荷物を吊り、運転手は関連する訓練を行っていません。また該当する資格を取得していません。だから多くの事故を起こします。事故を無くすために私は日本の建設業から多くを学ばなければならぬと思いました。しかし日本の仕事の中にも悪い面も多い、例えば一人一人が自分の仕事だけをしているので仕事の効率がとても低い。我が国では助け合い、仕事を迅速に完成させることができます。だからこれらの面は私たちがより学ぶ価値があります。日本の建設業従事者の高齢化は非常に深刻である。建設業界はとても多くの重機を操作しなければなりません。年配の方は経験は多くありますが、緊急事態の時の反応が遅いため、深刻な事故を起こしやすいです。日本では65才以上でも重機作業をすることが出来ます。しかし、中国では65才以上の方が建設業に従事するためには年に4回、3ヶ月に1回の健康診断を受けなければ重機作業は許可

TODA MIRAI FOUNDATION

タイトル: 日本の仕事について

会社名: 長良通商(株) 氏名: 刘 泓江 出身国: 中国

されません。これにより高齢者による人為的  
要因による事故の発生が減少しました。これ  
も日本の建設業は中国から学ぶことができ  
と思います。建設業に従事するには絶えず勉  
強し、技術、技能や知識を高めなければなら  
ないと思います。また、安全を第一に考えて  
いる建設業の中で絶えず実践し、総括する。